

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第22週の発生動向

### トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が14例あり、2021年の累積報告数は2,164例となった。

・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告が宮崎市(2例)、都城、延岡(各1例)保健所からあった。2021年第22週時点での累積報告数が42例となり、1999年以降最も多くなった前年(40例)を超える報告数となっている。

性別は男性が26例、女性が16例で、年齢群別では、40歳代及び20歳代がそれぞれ全体の約3割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、32例となっている。

【梅毒】診断週による  
年別累計報告数の推移



※2021年は第1週～第22週まで

【梅毒】2021年(第1週～第22週)年齢別報告数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
3	12	8	13	6

### 全数報告の感染症 (22週までに新たに届出のあったもの)

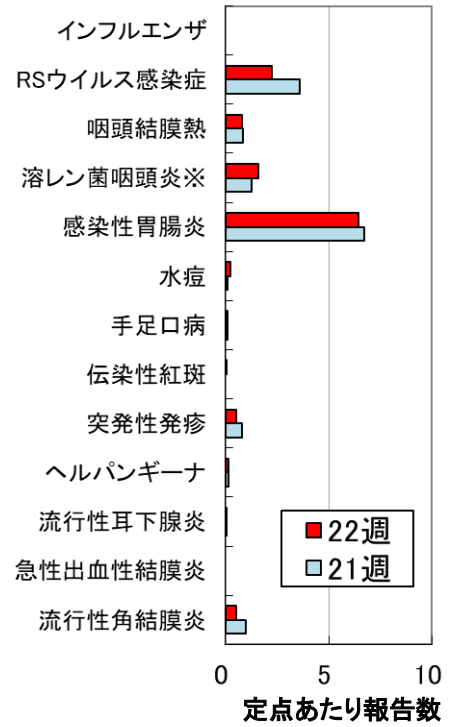
- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：レジオネラ症1例。  
5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒4例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	70歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難
4類	レジオネラ症	延岡	50歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎、倦怠感
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 梅毒	宮崎市	70歳代	女	—	ショック、腎不全、軟部組織炎
		宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹
		宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

### 新型コロナウイルス等感染症 (22週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	保健所	報告数	年齢群								症状
			20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代		
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	10例	2	3	1	1	1	2		発熱、咳、 全身倦怠感等	
	小林	3例			1		1		1		
	日向	1例					1				

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は439人(定点当たり12.6)で、前週比86%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

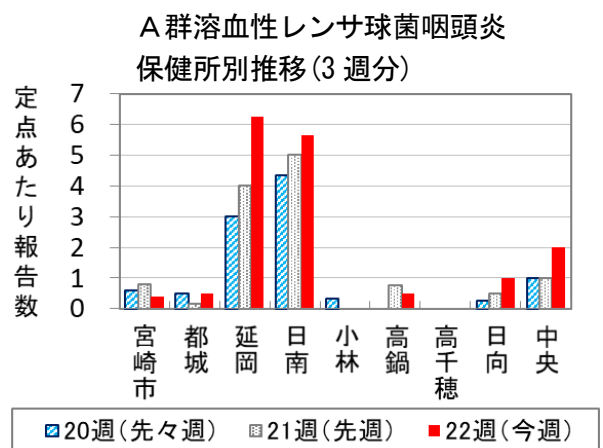
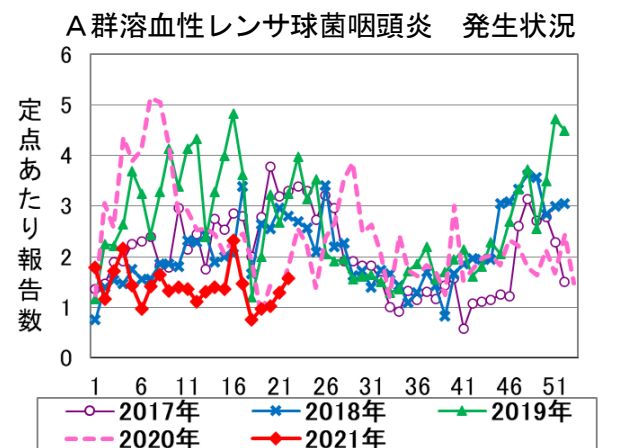
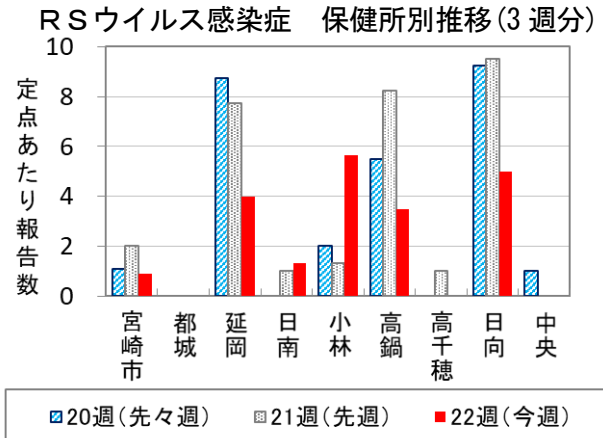
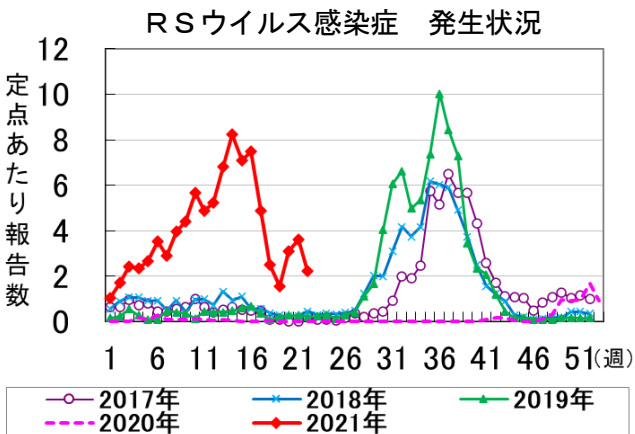
報告数は80人(2.2)で、前週比62%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.21)の約10.8倍であった。小林(5.7)、日向(5.0)、延岡(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月～3歳が全体の約9割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は57人(1.6)で、前週比124%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.9)の約0.5倍であった。延岡(6.3)、日南(5.7)、中央(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～3歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年6月7日までに検出）

★細菌 なし。

★ウイルス なし。

🇯🇵 全国 2021 年第 21 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	268 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	49 例				
4類感染症	E 型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	5 例
	日本紅斑熱	7 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	42 例
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例
	水痘（入院例）	3 例	梅毒	60 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	2 例	百日咳	8 例	麻疹	1 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は7,818人(2.5)で前週比137%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.18)の約13.7倍であった。山口県(11.0)、奈良県(10.7)、石川県(8.1)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は1,182人(0.38)で前週比131%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.59)の約0.7倍であった。鹿児島県(1.4)、佐賀県(1.2)、新潟県(1.1)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

疾病名	第21週	第22週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	130	80	9	16	4	17	14		20	
	定点当り	3.61	2.22	0.90	0.00	4.00	1.33	5.67	3.50	0.00	5.00
咽頭結膜熱	報告数	31	29	7	5	1	1	10		5	
	定点当り	0.86	0.81	0.70	0.83	0.25	0.00	0.33	2.50	0.00	1.25
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	46	57	4	3	25	17	2		4	2
	定点当り	1.28	1.58	0.40	0.50	6.25	5.67	0.00	0.50	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	242	232	76	55	11	15	26	21	3	19
	定点当り	6.72	6.44	7.60	9.17	2.75	5.00	8.67	5.25	3.00	4.75
水痘	報告数	4	8	3	1	2	1			1	
	定点当り	0.11	0.22	0.30	0.17	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25
手足口病	報告数	3	3		3						
	定点当り	0.08	0.08	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		2	2							
	定点当り	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	18	8	3	2	1	2		1	1
	定点当り	0.81	0.50	0.80	0.50	0.50	0.33	0.00	0.50	0.00	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	6	6		2			2			2
	定点当り	0.17	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1			1					
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	6	3		3						
	定点当り	1.00	0.50	0.00	1.50	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～22週)

2類感染症	結核	52例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例		
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	9例
	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	4例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	3例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	42例(4)
	破傷風	2例	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	2164例(14)		

( )内は今週届出分、再掲